

## リバサイド市の鐘が仙台で響きました

2001年3月9日、仙台市とリバサイド市との姉妹都市交流は1957年から始まりました。その後も2001年の現在まで多くの国際交流が行なわれてきました。

仙台の市民にとってもカルフォルニア州、ロサンゼルス郊外（車で約1時間）のリバサイド市との姉妹都市交流は、日本の他の都市の国際姉妹都市交流とは、比べものにならないほど密接なものがあります。

私達は、これからの世代の皆さんにも、ぜひこの歴史ある国際交流を伝えたく、仙台リバサイドデイを設定したいと考えております。

その第一弾としまして、仙台市とリバサイド市の姉妹都市締結日の3月9日に、仙台市役所前にある、リバサイド市より寄贈された鐘を皆さんで鳴らし両市の、より深い交流を祝いました。

当日は仙台ハーフマラソンに参加した、仙台市のその他の姉妹都市の皆さんも、仙台市長、リバサイド市長共々お祝いしました。

写真の後方のリバサイド市より寄贈されました鐘は、仙台市役所前の駐車場の脇にあります。白い鐘は現在リバサイド市のシンボルになっております。

3月11日仙台ハーフマラソン大会に参加しました、リバサイド選手団、ダラス選手団との歓迎パーティを日専連ビル、ビープにて約100名の参加者と共に行ないました。

新しい友人がまた増えました。